

やなせ たかし・作

篠崎光正・脚本・演出

リーディング・ミュージカル

電劇特別公演

シノザキ・スタジオ公演

スタッフ

作 やなせ たかし
脚色・演出 篠崎 光正
音楽 三島 由起子
振付 深澤 恵理子
タップ振付 佐々木 隆子
美術 M・S コルヴィジェ
照明 森脇 清治
音響 斎藤 英士
舞台監督 シノザキスタジオ
制作 電劇
タップ振付補佐 安田 有希

語り手
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

キャスト

M	M	M	M	M	M	M	M
2	2	1	1	1	1	1	1
1	0	9	8	7	6	5	4
					(6)		(6)
エグジ ットミ ュージ ック	バウズ (M2 ア フリカ リプ ライズ (録音)	終曲 あ の星の もとへ	二人の 最期 (録音)	子守唄 アカペ ラ	警官隊 の行進	走れ! ブルブル	子守唄

舞台中央に、グランドピアノが一台置かれている。

明かりが入ると、ピアニストが、演奏をはじめ。

M1 オーヴァチュア「やさしいライオン」

演奏が始まって、しばらくすると、あちこちから
団員が集まってくる。準備体操を始める。

一同静かになる。

曲が変わり歌が始まる。

M2 アフリカ

語り手1〜19

ライオン

大きく

つよい

アフリカの

草原で

たてがみ

なびかせ
走るぞ
ライオン
ライオン
大きく
つよい
猛獣の
世界一
えものに
かみつく
こわいぞ
ライオン
わおう
わおう
わおう
わおう
うわおう
うわおう

語り手 1

語り手 3

語り手 1

語り手 3

語り手 4

語り手 5

語り手 2

語り手 3

語り手 1

うわおう
うわおう

ライオンのおはなしを
はじめましょう

語り全員お辞儀をする。

みなさん、こんばんは（こんにちは）。今日は、や
なせたかしさんが書いた「やさしいライオン」のお
話をしましょう。

やさしいの？ライオンが？

そうよ、やさしいライオンなの。

猛獣だよ、こわいんだよお！テレビでシマウマ、食
べてるの、見たよ！

あたしも！

あたしだって！

そうよね、動物園の檻の中じゃ、おとなしく、よく
寝てるのね。

ううん、ちっともやさしくなんかないよ！

でも、このおはなしに出てくるライオンはね、それ

語り手3
語り手1
語り手3

はそれは、やさしかったの。
他の小さな弱い動物をいじめたりしないの？
もちろんしないわ。だって、やさしいんですもの。
よかった！

M3 | 1 ブルブルの誕生（ブルブルのテーマ）

語り手1

寒い冬の朝、ある国の大きな動物園で、かわいいライオンの赤ちゃんが産まれました。それはそれはかわいいお目めをしたぬいぐるみのような赤ちゃんでした。でも、産まれてすぐに、ライオンのお母さんが、病気で死んでしまったのです。

M3 | 2 母の死

語り手1

かわいそうに、ライオンの赤ちゃんは元気がなくなり、次第に身体もやせていきました。さあ、動物園は大騒ぎです。
ライオンの赤ちゃんが死んでしまうのではないかと飼育係の人たちは、夜遅くまで赤ちゃんを助ける方法を話し合いました。

M 3 | 3 飼育係の心配

語り手 1

二日が経ちました。もう限界です。これ以上経てばライオンの赤ちゃんは死んでしまうでしょう。飼育室には哺乳瓶の用意がされましたが、ライオンは人間になつてしまったライオンを仲間に入れてはくれません。赤ちゃんライオンが大きくなった時のことを考えると、どうしても人間が哺乳瓶で育てるわけにはいかないのです。飼育係の人たちは必死でした。そうして、ようやく、助ける方法が決まりました。

音楽終わる。

語り手 1

それはとっても奇抜な、変わった方法でした。

語り手 6

わかった！アフリカに連れて行ってライオンに育ててもらうんだよ、きつと。

語り手 1

違うの。動物園で飼っていた犬を、ライオンのお母さんにする事になったの。

語り手 7

犬を！

語り手3 どんな犬なの？

語り手1 その犬はね、ムクムクという名前でした。

語り手3 ムクムク！

語り手1は、着替えを始める。

語り手2

毛足が長く、しかもふさふさとしていて、ほんとうに暖かそうな犬でしたから、動物園の飼育係の人たちから、ムクムクと呼ばれて、かわいがってもらっていました。

語り手1は、着替えを済ませる。

語り手2

ムクムクは自分の赤ちゃんを産んだばかりだったのですが、その犬の赤ちゃんが、かわいそうに生まれてすぐに死んでしまったのです。病気になるって？

語り手8 そうなの、産まれてすぐ病気になるって三日後に死んでしまったの。

語り手9 かわいそう。

語り手1 やさしいのね。でも、だいじょうぶ。元気をとり戻

語り手 2

せたの。
飼育係の人は、ムクムクが入れられている犬の檻にライオンの赤ちゃんを連れていきました。そこには、子犬たちが何頭も一緒に生活していました。

M 4 犬の楽しい生活

子犬たちが整列する。

子犬たちは次々と吠える。

語り手 3 ～ 19 わん！

子犬たちは次々と遠吠えする。

語り手 3 ～ 19 わん！わうおーん！

子犬たちは次々とハアハア息をする。

語り手3 19 ハアハアハア！
語り手2 ほーら！食事の時間だよ！

M4 犬の楽しい生活

語り手2が肉の塊を3つ、順番に子犬たちに与えていく。

語り手3 19 わんわん！

子犬たちは、食欲旺盛にその肉の塊を奪い合う。

M5 1 ブルブルのテーマ

子犬たちは振り返る。

ライオンの赤ちゃんの登場。

語り手1 0 あれ、見て！
語り手1 1 新しい犬だよ！
語り手1 2 震えている！

語り手 1 3 やせてるし、へんな犬！
語り手 1 4 大きいね！
語り手 1 5 病気かな、元気ないね。
語り手 1 6 耳の先がまるいよ、ほら！
語り手 1 7 ほんとだ！
語り手 1 8 においがちがうよ！
語り手 1 9 どんなおい？
語り手 3 1 9 くんくん！
語り手 5 君はだれだ、なんていう名前だい？

音楽が入る。

M 5 | 2 ブルブル

語り手 2

ぼくのなまえは
ブルブル
ブルブル
ちいさな ちいさな
ひとりぼっちの
ライオン
ブルブル

語り手 2

飼育係が大声で呼んでいます。
はい！

語り手 1
そこには、暖かそうな長くふさふさした毛でおおわれた犬のお母さんがいました。ブルブルはお腹が空いてブルブル震えて立っていました。

語り手 2
あなたがブルブルなのね。かわいそうに、二日も何も飲んでいないの？さあ、こちらへいらっしやい。

語り手 1
どうしたの？

語り手 2
。。。。。

語り手 1
そんなに震えて・・・かわいそうに・・・寒いんでしょう？こっちへいらっしやい。さっ！こっち！

語り手 2
ブルブルは、無我夢中でおちちをお腹いっぱい飲みました。

語り手 1
さあ、これで落ち着いたでしょう？もう安心していいのよ。これからはここにいなさい。

語り手 2
いいの？ほんとにここにいていいの？
もちろんよ！今日からここが、あなたのおうちよ。

語り手 1

ブルブル いい子ね

おやすみ

おやすみ

ミルクをたくさん

飲みなさい

大きく

大きく

なりなさい

ブルブル いい子ね

おやすみ

おやすみ

音楽終わる。

語り手 2

ブルブルはおちちをおなか一杯飲んでごきげんに
眠ることが出来ました。やさしい犬のムクムクが、
大好きになりました。

ほんとうに大好きになりました。

ブルブル、もう寝る時間ですよ。

ママア！もつと、歌って！

語り手 1
語り手 2

語り手 1
語り手 2
語り手 1
語り手 2
語り手 1
語り手 2

もうおしまい！また、明日。
ママア！歌ってよ！
まあ！甘えん坊ねえ。
ねむたくないよ、ぼく！歌ってえ！
まあいいわ、最後にもう一度だけ歌ってあげましょ
う。
ママア！大好き！

音楽始まる。

M 6 | 2 子守唄

語り手 1

ブルブル いい子ね
おやすみ
おやすみ

音楽終わる。

語り手 1
語り手 2
語り手 1

おあずけ！
食べたい！
いけません、おあずけですよ。

語り手2
今すぐ食べたいよ、ぼく。
語り手1
そんなわがまま言っていたら、王様にはなれませ
よ。

語り手2
王様？

語り手1
そうよ、ライオンは動物の中で一番強いから、大人
になつたら王様になるのよ。

語り手2
へえ、そうなの、王様かあ。

語り手1
我慢できなきや、王様にはなれないの。

語り手2
わかった、ぼく、がまんする。もう一度やつて！

語り手1
おあずけ！

語り手2
食べたくない、食べたくない、食べたくない。ああ！

語り手1
まあ、よくがまんしているわね。

語り手2
ああ！食べたいよう！

語り手1
おあずけ！

語り手2
ぼくは王様になるんだ！

語り手3
ブルブルは毎日成長します。

語り手1
お手！

語り手2
にやあ！

語り手1
わん！

語り手2
にやあ！

語り手1
わん！

語り手 4

にやあ？にやあだつて！

ねえ、みんなあ！ちよつと来てえ！

語り手 3 ～ 19 わんわんわん！

語り手 4 変な鳴き方なんだよ！にやあだつて！

語り手 3 ～ 19 あはははは！

語り手 2 違うよ！違うよ！違うつてば！

語り手 4 これ、あたしのだからね！

語り手 2 ぼくが先だよ！

語り手 4 うそつき！

語り手 2 うそつきだつて！ちがうよ！ううう、にやあ！

語り手 3 ～ 19 にやあ！きやはははは！

語り手 2 わん！

語り手 3 ～ 19 ブルブルは毎日成長します。

語り手 1 そう、そんなことがあつたの。わんはできるように
なつたのにね。

語り手 2 そうなんだけど、気がついたら、にやあつて鳴いて
いたんだ。

語り手 1 でもね、ブルブル、喧嘩はいけませんよ、いいわね。

語り手 2 でも、ぼくが先に見つけたんだよ！

語り手 1 それがいけないの。自分のことばかり言っているの
は、相手のことをよく考えていないからよ。相手の

ことを思いやることが大切なの。人の気持ちを大切に
考えて頂戴ね。

わかった！これから気をつける。

語り手 2
語り手 3 〽 1 9ブルブルは毎日成長します。

語り手 1
わんの発音は、口を大きくあけること。

語り手 2
大きくあけること。

語り手 1
きゃんの発音は、口を横に大きくあけること。

語り手 2
大きくあけること。

語り手 1
基本の発音練習よ、正確にね。

語り手 2
だぞぞぞぞぞぞだ。

語り手 1
だぞぞぞぞぞぞだ。

語り手 2
毎日練習しなさい。

語り手 1
はい！

語り手 2
だぞぞぞぞぞぞだ。

語り手 2
だぞぞぞぞぞぞだ。

語り手 1
今日も練習しているの？いい子ね。

語り手 2
だぞぞぞぞぞぞだ。

語り手 1
だぞぞぞぞぞぞだ。

語り手 2
だぞぞぞぞぞぞだ。

語り手 1
だぞぞぞぞぞぞだ。

語り手 3 〽 1 9ブルブルは毎日成長します。

語り手 1
語り手 2

今日も練習しているの？いい子ね。

だぞざどどざぞだ。

だぞざどどざぞだ。

だぞざどどざぞだ。

だぞざどどざぞだ。

語り手 3 19ブルブルは毎日成長します。

語り手 2 みんなもやるのよ！

語り手 3 19だぞざどどざぞだ。

だぞざどどざぞだ。

だぞざどどざぞだ。

だぞざどどざぞだ。

だぞざどどざぞだ。

だぞざどどざぞだ。

M 6—3 子守唄

語り手 1

ブルブル いい子ね

おやすみ

おやすみ

ママア！大好き！

語り手 1

まあ、寝言を言ってるわ、かわいいこと。

語り手3〜19ブルブルはムクムクに育てられて、やさしいライオンに成長しました。

音楽始まる。

M7 ブルブルの成長

語り手3〜19

つめがのび

足がのび

背がのび

きばがのび

ついに

たてがみが

こんなにりっぱに

なりました

音楽終わる。

語り手3

語り手10

語り手2

どうやったら、そんなに大きくなれるの？

大きくなるもの、なにかたべたんじゃ？

みんなと同じもの食べてたよ。君たちだって一緒に

語り手 3

食べてたじゃないか。
うん、おなじものたべてた。でも、こんなにからだ
のおおきさがちがうんだから、ひみつがあるよ、き
つと。

語り手 1 3

ひみつ？

語り手 1 4

ひみつだって？おしえて！

語り手 2

秘密なんてなにもないよ、ほんとき。

語り手 1 0

いいなさいよ、かくしたって、すぐわかるんだから。

語り手 1 3 1 4

ひみつ！ひみつ！

語り手 2

声が大きいよ、そんなに大声出さなくたって聞こ
えるよ。

語り手 3

みんな！ちよつときてえ！

語り手 2

まだだ！

語り手 4 1 9

わんわんわん！

犬たちは、ブルブルを取り囲む。
犬たちは、ストップモーション。

語り手 1

そう、そんなことがあったの。ブルブル、あなたは
まだまだ大きくなるわよ、これから。

語り手 2

もっと大きくなるの、ぼく？

語り手1
語り手2

もちろんよ、ライオンなんだから、あなたは。
このままでいいよ！みんなと楽しく遊んでいたいよ！

語り手1

ブルブル、良く聞きなさい。ライオンはね、犬とは違うの。これからは、そのことをお勉強しなきゃね。

語り手2

ぼくはライオン、友達は犬・・・どうしたらいいんだ。

語り手1

大きくなったら、いずれ犬とは別れなくてはならないの。

語り手2

いやだ！みんなと別れるなんて、いやだよ、ぼく！

M 8 別れ

犬達は、スローモーションで去っていく。

語り手2

行かないで！一緒に遊んでよ、僕と！ねえ、みんな！

音楽終わる。

語り手2

ライオン・・・ぼくはライオンなんだね。お母さん、

これからは、ライオンの友達も作るよ。いっぱい作る。そして、立派な王様になるんだ。百獣の王になるんだ！

音楽始まる。

M 9 王様

語り手 2

朝日 のぼり

大地 かがやき

草原の王様ライオン

アフリカ中で

偉大な王

父さんのようになりたい

誇り高く

父さんのように

ゆけ

ブルブル

百獣の王

語り手 3 ～ 19

音楽終わる。

語り手 2

とうとうお母さんのムクムクのもとを離れる日がやってきました。仲間のライオンたちのいる檻に、一緒に入って生活することになったのです。

語り手 1

ブルブル、ライオンたちのところに行ったら、ライオンの友達をたくさんつくるのよ。

語り手 2

友達は大切にするよ、犬の友達もみんな！

語り手 1

ライオンはね、百獣の王なの。すべての動物たちに尊敬されるようにならなければね。

語り手 2

わかった。ぼくはライオンだ。お母さん、みんなにやさしくする！約束するよ、この約束は必ず守る。

語り手 1

ブルブルがこんなに成長するなんて、母さん、うれしい！

語り手 2

もう、行かないきゃ！飼育係の人が僕を連れに来た。たまには、様子を見に行くからね。

語り手 1

じゃあ、お母さん、行ってくる！
元気だね。

語り手 2

お母さんも！

語り手 3

ブルブル！げんきだね！

語り手 2

みんなに見送られて、ブルブルは同じ動物園のライオンたちが暮らす広い場所へ運ばれました。

語り手 1 5

きみか、犬のところまで暮らしていたライオンつてのは。

語り手 2

こんにちは。

語り手 1 5

なんだよ！そんなにじろじろ見て。あたしの顔に、なんかついてるのか？

語り手 2

そうじゃないんだ。ライオンを見るのは、はじめてなんだ。

語り手 1 5

おまえはライオンだろ！なにいつてるんだよ！

語り手 2

今まで、犬と暮らしていたから、自分も犬のような姿をしてると思っていたんだ。

語り手 1 5

じろじろ見るなって！気持ち悪い奴だな。

語り手 1 5

とんでもない！君は雄ライオンだろ！たてがみがあるじゃないか、ここに！

語り手 2

そうか。君って雌ライオンなんだ。

語り手 1 5

なんだよ、お前、けんか売ってんのか！あたしはね、雄の兄弟が多くてね、こんな乱暴な言葉遣いになったのさ！

語り手 2

そうか、たしかにたてがみがない、君はメスなんだね、驚いた！

語り手 1 5

やめろ、そのじろじろ見る目つき！今度やったら、

嘸むぜ、いいな！

わかったよ、もう、見ない。

犬つてうるさいだろ、きゃんきゃんきゃん！
それがね、かわいいんだあ！わんつて吠えるとみんなもわんわん吠えるんだよ。仲間意識があるっていうか、友情にあついんだな、これが。

あほらしい。お前、犬の情けなさがわからないのか？なんでも、みんなでやるってことは、自分ひとりじゃ、何にも出来ないってことよ。

ライオンだつて、群れで生活するって聞いているよ。群れは群れでも、一家さ！オスのライオンがいて、そこに雌ライオンが4、5頭いて、子供たちがいる。家族さ！

家族か・・・。

おまえ、家族、いないのか？

本当のお母さんは、ぼくを産んですぐ死んだんだ。そうか、それで犬に育てられたのか。ついてないな、犬の親だなんてさ！

そんなことないよ！犬のお母さんはやさしいんだ！

わかった、わかった！なんでそんなにむきになるの

語り手 2

語り手 1 5

語り手2
語り手15

語り手2

語り手15

語り手2
語り手15
語り手2

語り手4
語り手2

語り手4

か、ちつともわからないよ。でも、まあいいさ。
あれは？ねえ、あれはなにをやっているの？

狩りの練習さ。本当はシマウマやヌーを襲って食べるけど、動物園じゃ飼育係の人がエサをくれるから、狩りはしない。その代り、いつもああやって、狩りの練習をしてるんだ。

真中にいるのは年寄りじゃないか！足から血が出ているよ！

狩りの練習は、本気だからさ、怪我することもあるんだ。

あのライオン、かわいそうだよ！
しょうがないさ、弱いんだから。

だめだよ！やめろ！
ブルブルは、ライオンたちが大勢集まっている輪の中に飛び込み、年寄りのライオンをかばうように身構えました。

たすけてえ！
やめろ！たすけてやるんだ！年寄りじゃないか！

こんなに怪我をさせて！もう大丈夫だよ、安心していいよ。

ありがとう！やさしいんだね、ほんとうに。

語り手2
語り手4
語り手2

じつとして。なめてなおしてあげるよ。
ありがとう。

この時、他のライオンたちは、そうつとブルブルを取り囲んで、隙があつたら襲いかかろうと、待ち構えていた。

逃げろ！逃げるんだ！

後ろを見なさい！にげなさい！はやく！

ライオンたちは一斉にブルブルに飛びかかり、はげしい争いが始まりました。ブルブルの背中に鋭い爪を立てたり、後ろ脚にかみついたり、それははげしい喧嘩でした。大きな鳴き声や、叫び声が動物園にひびきわたったので、たちまち大勢の飼育係の人たちが飛んできて、ブルブルを別の檻に入れた。

大丈夫か、ねえ、大丈夫か！

ありがとう！

ブルブルは年寄りのライオンが目を真っ赤にして泣いている姿を見て叫びました。

弱い者、小さい者をたすけなさいけないんだ！

ライオンは、百獣の王なんだ！王様なんだ！

しかし、この時、これから数日後におこることを、ブルブルは知りませんでした。

語り手15
語り手4
語り手2

語り手15
語り手4
語り手2

語り手 1

ある日、動物園の飼育係の人が大勢やってきて、猛獣用の大きな鉄格子の檻を運んできました。そして、その檻に、ブルブルを入れてトラックにのせ、どこかへ運んで行ったのです。驚いたムクムクは必至で動物園を飛び出し追いかけました。

音楽が入る。

M 1 0 追跡

語り手 1

ブルブルを連れて行かないで！おねがいよ！返してちょうだい！

語り手 2

お母さあん！

語り手 4

ブルブルを返せ！

語り手 3

ブルブルを返せ！

語り手 7

トラックを止めろ！

語り手 3

トラックを止めろ！

語り手 4

返せ！

語り手 3

返せ！

語り手1 6 止める！

語り手3 1 9 止める！

語り手3 1 9 ブウウウウウ！

語り手2 お母さん！

語り手1 ブルブル！

語り手1 7 ムクムクは、力の限り、トラックを

語り手3 1 9 追いかけます！

語り手5 ムクムクは、ブルブルの名前を叫び続けて！

語り手3 1 9 追いかけます！

語り手9 しかし、とうとう、ブルブルを乗せたトラックの姿

は見えなくなりました。

語り手2 ブルブルは、大都会のサーカスへ移されることにな

ったのです。トラックで運ばれたブルブルは、その

日のうちにサーカスのテントにつきました。

そしてすぐに調教が始まりました。

語り手1 1 調教というのは、サーカスで芸をさせるために、そ

の芸を覚えさせることです。

語り手2 ブルブルは、サーカスのことは何も知りませんでし

たが、できないと大きな鞭でぶたれることを知りま

語り手 6

語り手 2

語り手 6

語り手 2

語り手 6

語り手 1 2

語り手 1 5

語り手 2

語り手 1 3

語り手 4

語り手 2

した。

こんにちは。

あたし、へびのムーア、あなたは？

あつ！こんにちは。気がつかなかったよ、ごめん。ぼく、ブルブル、まだここへ来たばかりなんだ。

あたし、まだこともだから、舞台には出してもらえないんだけど、サーカスって、たのしいよ。お客さんが拍手をしてくれるとうれしいんだよ。

サーカスってどんなところか知らなかったから、君にそう言ってもらえて安心した。ありがとう。

きみのげいをたのしみに行っているよ、またね！

ブルブルはほっとしました。

そして、自分はどんな芸をするのかたのしみになりました。

よおし、がんばるぞ！

ブルブルのげいは、ほのおのジャンプです。

火がもうもうと燃えている大きな丸い輪の中をジャンプしてぐるぐるのです。

高く飛ぶより、正確に飛ばなくちゃって言われたけど、火を見るだけで、こわくなるんだ。くやしいなあ。

語り手3　く11ブルブルは毎日毎日！

語り手1　2く19稽古をしました！

語り手2　火ってどうなっているんだろう？炎を見ると身体

がこわばって動かなくなるんだ。ねえ、母さん、

どうしたらいいのか、わからないよ。

語り手4　ブルブルは、毎晩、お母さんのムクムクを思い出し

ていました。

語り手2　ねえ、母さん、お願い！教えて！

語り手1　ブルブル、元気をお出し！

語り手2　母さん！ああ、どこにいるの？ねえ、母さん！なん

だ、夢か・・・。

語り手3　く19ブルブルは、なんどもなんどもお母さんのムクムク

のゆめをみました。

語り手2　誰だ！動くな！

語り手5　ああ、びっくりした！そんなに大声出さないでよ。

あたしって、気が小さいんだから。

語り手2　誰だ？そこで何してるんだ？

あたしたちは、ねずみ！見たことないの？

語り手2　動くな！動くと噛むよ！

語り手3　5・10・13　食べないで！

語り手2　そこで、何してるんだい？

語り手3 5・10・13 食べないで！

語り手2 食べやしないさ。

語り手3 5・10・13 ほんとうだね？

語り手2 でも、食べてみるとおいしそうな・・・ねずみ！

語り手2は、ねずみに近寄る。

語り手3 5・10・13 きゃああ！食べないで！

語り手2 食べないっていったじゃないか。子供のくせに疑り

深い性格だな。

語り手3 ねずみは猫にいじめられているからね。いつも用心

してるんだ。

語り手5 あたしたちをからかわないで！よわいものいじめ

はいけないんだよ！

語り手2 ごめんごめん、そんなつもりじゃなかったんだよ。

ただ、起きたら見たこともない君たちがいたから、

びっくりしたんだ。

語り手3 おおきなこえで、ねごとをいっていたから、みんな

でみにきたの。じしんがおきたみたいにゆれてたよ。

語り手10 こんなにおおきいくせに、あまえたこえで、かあさん！だっつき。

語り手 3・5・10・13 あははははは！

語り手 1 3 あははははは！

語り手 2 そんなに笑うなよ！君たちは元気だね、ほんとに。

語り手 3 ねえ、なにかかないことがあったの？

語り手 5 わかった！おかあさんとけんかしたんだ！

語り手 1 0 おかあさんってこわいよね、あたしなんかすぐない

語り手 1 3 ちゃうよ！

語り手 1 3 あたしも！

語り手 3 あたしも！

語り手 5 よかったら、あたしたちにはなしてちょうだい。

語り手 2 ありがとう、やさしいんだね、みんな。

語り手 3・5・10・13 やさしい！あははははは！

語り手 2 こうして、ブルブルは、ねずみたちに、炎のジャン

プの話をしました。その話を熱心に聞いていたねず

みの子供たちは。

語り手 3 だれだって、あるよ、こわいとおもうこと！

語り手 5 なんてにんげんはひどいんだ！そんなことさせる

なんて！

語り手 1 0 どうぶつが、ひをおそれるのはあたりまえだよ！

語り手 5 にんげんがわるい！

語り手 2 みんな、ありがとう。

語り手 3
語り手 2
語り手 3
語り手 5
語り手 1 0
語り手 1 3
語り手 2
語り手 3
語り手 3
語り手 3
語り手 2
語り手 3
語り手 3
語り手 5
語り手 3
語り手 2
語り手 3
語り手 3
語り手 5

ねえ、きみのなまえはなんていうの？
僕の名前はブルブルっていうんだ。

あたしは、チューー！

チューー！

チューー！

チューー！

わかりやすいいい名前だね。

10・13 ありがとう！

それで、そのげいはいつやるの？

それが、あしたなんだ！

あした？ だいじょうぶなの？

だめだよ！ そんなこといったら、もっとしんぱいするじゃないか。

あしただよ！ すぐじゃないか！

ぼくはね、お母さんに約束したんだ。

おかあさんに？ なんて？

そう！ 王様になるって！

百獣の王になるって。

それじゃあ、炎のジャンプはやらなきゃね。あたし

だって、いちどしたやくそくはいつもまもっている

よ。

語り手 3

ようし！それじゃあ、あした、みんなでおうえんし
にいきましょう！

語り手 5・10・13 さんせい！

語り手 2

ほんとうかい？うれしいなあ！ありがとう！

語り手 3

がんばってね！

語り手 2

こういつて、ねずみさんたちは、壁の穴の中へ帰っ
て行った。

音楽が入る。

M 1 1 サークス

語り手 1 7

ママア！ライオンのショーがはじまるよ！はやく
はやく！

語り手 1 5

ちよ、ちよっと！そんなに引つ張らないでよ！

語り手 1 7

おそいんだもん！

語り手 1 5

いけません！

語り手 1 7

うわああああん！

語り手 8

おかあさん！ポップコーン、買って！ねえ！買っ
て！

語り手 1 6

いけません！食べながら見るなんてお行儀が悪す

語り手 8
語り手 1 6
語り手 8
語り手 1 6
語り手 8
語り手 1 4
語り手 4
語り手 1 4
語り手 4

ぎますよ！
あつ！それじゃあ、あの子はいいの？食べてるよ？
ひとのことを言うんじゃないやありません。
行儀が悪いんだって！
まあ！この子は！
うわあああん！
ママア！
おだまり！
うわあああん！まだ、なにも言っていないよう！
なにか言いたそうにママを呼ぶからよ！

音楽が終わる。

語り手 2

さあ、いよいよだ！母さん！約束した通り、王様になるために、ぼくはがんばるぞ！
そして、ついに炎のジャンプをサーカスのお客さんの前で試す時がやってきました。炎を怖がるライオンは、サーカスでは芸ができません。そこで、怖がるのかどうかを、お客さんの前で試すのです。

音楽が入る。

語り手2

M12 | 1 炎のジャンプ

ブルブルは猛獣ショーのメインイベントに出演するために、丸い舞台に引き出されました。美しい調教師が鞭をならしながらブルブルを舞台中央にセツトされた檻の中へ導きます。
ブルブルは、檻の中の台の上に乗りました。火の輪を潜り抜け、もう一つの台へ飛び移るのです。
さあ！炎のジャンプ・ショーの始まりです。

M12 | 2 炎のジャンプ

丸い輪に火が付けられました。もうもうと立ち上る煙と赤い炎！

炎がはげしく燃えはじめる。

語り手2

母さん！やるよ！見ててね！ぼくは王様になるんだ！

語り手9

あれ？あのライオン、どうしたんだろう？跳ばないよ！

語り手 5
語り手 4

ママ！あのライオン、こわいんだよ、きつと！
そんなことはありませんよ。百獣の王なのよ、ライオンは。

語り手 8
語り手 6

こわいんだ！
かわいそうだよ、ママ！あのライオン、震えているよ！

語り手 1 5
語り手 2

まあ！ほんと！どうなっているのかしら！
なぜなんだ？炎はこわくない、こわくない！
くやしいなあ、お客さんが騒ぎ出した。母さん！
くやしいよ、ぼく！ようし！一度大きく吠えてやる！
びっくりするほど、恐ろしい唸り声がおお
う！って吠えてやる！お客さん、おそろしくって静
かになるぞ！
ようし！

音楽盛り上がる。

語り手 2

ううううう、わん！

音楽止まる。

語り手9 あれ、いま、犬みたいに吠えたよ！

語り手2 いけない！犬になっちゃった！どうしよう！

語り手4 わんっだって！

語り手4 へんなライオン！わんっだって！

語り手4 へんなライオン！わんっだって！

語り手4 へんなライオン！わんっだって！

語り手9 面白いライオンだね！アンコール！

語り手4 アンコール！アンコール！

語り手4 あっ！舞台を見て！ねずみが一列になって、走って

くるよ！

語り手16 まあ！小さなねずみが一列になって！かわいい！

語り手15 見て見て！

語り手11 おおきなライオンと小さなねずみのショーよ、きつ

と！

語り手3 ブルブルくん！手伝いに来たよ！

語り手5 あたしたちにまかせてちょうだい！

語り手2 ねずみさん？昨日のねずみさんたちだね？

音楽が入る。

M13 ねずみのライندگان

ティカ ティカ

まばゆい

かがやく ライトに

空中ブランコ

魅惑のオンステージ

ライオン 飛び出す

ほのおのジャンプ

さあ たのしいサーカス

お目にかきましょう

タップダンス

ラインダンス（後半）

クラップー

SE 大歓声

語り手2

こうして、ブルブルは、サーカスで一番の人気者になりました。鼠のお陰で炎も怖くなくなり、炎のジャンプと犬のようにわんと鳴くライオンとしてた

語り手 8

語り手 1 2

語り手 1 8

語り手 1 1

語り手 7

語り手 3 1 9ブルブル！ブルブル！

ちまち国中で評判になりました。

わあ！すごい！本当の犬みたいだ！

犬のお母さんに育てられたんだって！

もう一回聞きたいよ、ママ！

ママもよ！もう一回並んで入りましょ！

もう一回出てきてよ！ブルブル！

SE 大歓声

語り手 2

ああ、今日も終わった。明日はまた違う都市に行くんだ、きつと。はやいなあ、なにもかも。動物園が懐かしいなあ。みんな、どうしているのかな。うふふ、相変わらず、みんなでわんわん吠えて騒いでいるんだろうな。

母さん・・・どうしているかな・・・。

SE 風の音

語り手 2

おお寒い！

もうすぐ雪が降るのかな。

冬は嫌いだ。あの日を思い出すから。
そうだ、動物園からトラックに乗せられてサーカス
へ連れて来られた時、たしか、今日のようなこんな
寒さだった。

音楽始まる。

M 1 4 (M 6) 子守唄

語り手 1

ブルブル いい子ね

おやすみ

おやすみ

ミルクをたくさん 飲みなさい

大きく 大きく なりなさい

ブルブル いい子ね

語り手 2

お母さん・・・。

語り手 1

おやすみ

おやすみ

音楽終わる。

語り手2

お母さんだ！
ブルブルは、かすかに聞こえてくる子守歌が、お母さんのムクムクの声だとわかったのです。

やっぱり、お母さんだ！

お母さんだ！

お母さん！
歌声が聞こえてくる方向を確かめ、ブルブルは、ものすごい力で、サーカスの頑丈な檻を破って飛び出しました！

音楽始まる。

M 1 5 走れ！ブルブル

語り手3 19

走れ！走れ！

金色の風のように

走れ！走れ！

たてがみをなびかせて

走れ！走れ！

走れ！走れ！

走れ！走れ！
走れ！走れ！走れ！

語り手5
ライオンだあ！

語り手4
助けて！

語り手8
こわいよう！ママア！

語り手15
ライオンよ！逃げるのよ！

語り手7
ママア！

語り手9
ママア！

語り手12
動けないよ、ママア！

語り手19
ママア！どこにいるの！

語り手11
ここよ！

語り手19
ママア！

語り手11
だれか来てえ！

語り手11
街の人はびっくりしました。

なにしろ、ライオンが人が住んでいる家の庭先にある、ちいさな犬小屋の中を覗いていたり、犬の散歩をしている人を追いかけたり、小さい街は大騒ぎになりました。

警察はなにしているの！

早くつかまえろ！

語り手5
語り手7

語り手18
語り手8

語り手 9
語り手 2

警察を呼べ！

ライフルを持った警官隊が、大急ぎで公園に集められ、ライオンの後を追いかけます。

音楽始まる。

M 1 6 警官隊の行進

語り手 3
語り手 1
語り手 9

にげた ライオン

どこだ ライオン

さがせ

さがせ

はやく

はやく

見つけ出せ

にげた ライオン

どこだ ライオン

さがせ

さがせ

はやく

はやく
見つけ出せ

にげた ライオン
どこだ ライオン

さがせ

さがせ

はやく

はやく

見つけ出せ

(一コーラス演奏のみ)

にげた ライオン

どこだ ライオン

さがせ

さがせ

はやく

はやく

見つけ出せ

音楽終わる。

語り手 2

お母さん！どこにいるの！
ブルブルは街中を探しましたが、お母さんのムクムクを見つけたことができません。とうとう、町の外へ走り出しました。ちょうど、町外れの白い雪におおわれた丘の上まで走って来た時、かすかに、あの子守唄が聞こえたのです。

M 1 7 (M 6) 子守唄 アカペラ

語り手 1

ブルブル いい子ね

おやすみ

おやすみ

語り手 2

ああ、お母さん！

ブルブルは、すっかり齢をとって、今にも死にそうになって横たわっているムクムクを見つけました。お母さん！

その声は、ブルブルだね。ああ、やっと会えた！ありがたいわ。かあさんね、もう歳をとって、目がすっかり見えなくなってるね。いま、そこにいるあなた

語り手 1

語り手 2

語り手 1

語り手 2

語り手 1

が、なんにも見えないの。でも、夢を見ているようだね。あなたがトラックで連れて行かれたあの日からずうっと、町から町を探して歩いたんだけど…、ああ、でもあなたに会うことができず、お母さん、本当にうれしい！

ブルブル、さわらせておくれ。

ここだよ、母さん。

ああ、会いたかった！

母さん！

ああ、ほんとうにすてきなたてがみだね。ふさふさした、いい毛並みだ。王様にふさわしいたてがみになったんだろうね。見ることができなくて残念だけど、母さん、自慢したいよ、こんなにっばな息子があたしにもいるんだって。

語り手 2

語り手 4

語り手 3

お母さん！今度こそ離れないで一緒に暮らそうね。その時警官隊の隊長は、「撃て！」と命令しました。撃ってはいけないのに！

ブルブルはとてもやさしいライオンなのに！

SE ライフルの音

語り手 2

ああ！

SE 再び、ライフルの音

語り手 1
語り手 2

ああ！
お母さん！

音楽始まる。

M18 二人の最期（録音）

音楽終わる。

語り手 2

ブルブルはムクムクをしっかりと胸に抱いて倒れていました。

雪の丘の上にブルブルの足跡がついていました。でも不思議なことに丘の中ほどで、足跡はふつつりと見えなくなっていました。

その夜のこと、年寄りの犬を背中に乗せたライオンが、空高く飛んでいくのを見たという人が何人もいました。

語り手 1

音楽はじまる。

M 1 9 終曲 あ之星のもとへ

語り手 2

夜空に輝く

あ之星のもとへ

ライオンよ

飛んで行け

おcaaさんをのせて

語り手 1 1 9

はるかに 聞こえる

おcaaさんのうたが

忘れない

いつまでも

やさしい あの声

やさしい あの声

M 2 0 バウズ (M 2 アフリカ リプライズ)

語り手 1 1 9

ライオン

大きく
つよい
アフリカの
草原で
たてがみ
なびかせ
走るぞ
ライオン
ライオン
大きく
つよい
猛獣の
世界一
えものに
かみつく
こわいぞ
ライオン
わおう
わおう

わおう
わおう

うわおう
うわおう
うわおう
うわおう

音楽終わる。

お辞儀をして緞帳ダウン。

M 2 1 EXIT ミュージック (録音)

幕